

### 3. 千葉県の水域と地勢

千葉県は、首都圏の東側に位置し、太平洋に突き出た半島になっていて、四方を海と川に囲まれています。南東側は太平洋に面し、西側は東京湾に面しています。

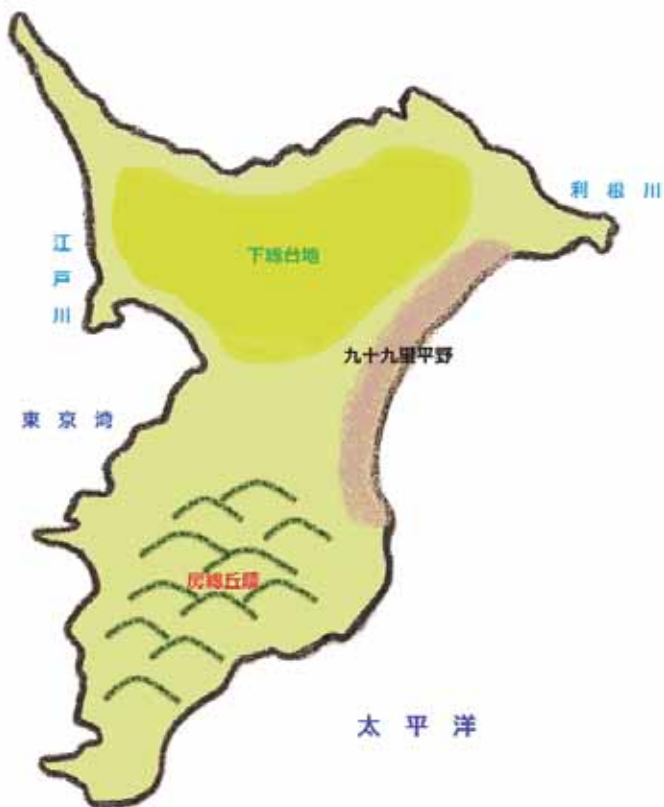
東京都及び埼玉県との県境に位置する江戸川は東京湾に注ぎ、茨城県との県境に位置する利根川は太平洋に注いでいます。

面積は 5,157.64km<sup>2</sup> (全国第 28 位) です。

地勢は、200～300m 級の山々が続く房総丘陵と比較的平坦な下総

台地、利根川流域と九十九里沿岸に広がる平野となっています。海岸線の長さは、533.5km (平成 25 年 3 月 31 日現在) に及び、変化に富んだ景観をみせています。

降水量は、夏季に多く、冬季は少ない気候となっています。三方を海に囲まれた千葉県は、冬暖かく夏涼しい海洋性の温暖な気候です。特に南房総沿岸は、沖合を流れる暖流 (黒潮) の影響を受け、冬でもほとんど霜が降りません。



#### 利根川の東遷

江戸時代以前の利根川は、現在の東京湾に注いでいました。洪水から江戸を守るため、徳川家康によって流れを東に替え、太平洋に注ぐようにする大治水工事が行われ、ほぼ現在の姿になりました。

千葉県の河川は、前述の利根川や江戸川に加え、東京湾内湾に注ぐ養老川、小櫃川、小糸川等、太平洋に注ぐ栗山川、一宮川、夷隅川等、一級河川として利根川水系 89 河川、二級河川として 60 水系 137 河川が指定されています。

また、千葉県北西部には印旛沼や手賀沼があり、その水は利根川に流れ太平洋へと注いでいます。

なお、水道用水や工業用水の水源については、約 2 / 3 を利根川水系に依存しています。印旛沼、手賀沼も利根川水系に属しており、重要な水源として利用されていますが、都市化等の影響により水質が悪化したことから、各種対策を行っているものの、未だに環境基準を達成していません。

